



加悦谷 ニューズレター



一人一人の可能性を伸ばす
加悦谷高等学校
宮津天橋高等学校
加悦谷学舎

vol. 9 (3月)

題字：書道部 谷川 莉葉 (1年) 作

学校長からのメッセージ



京都府立加悦谷高等学校は、3月1日に卒業証書授与式に引き続き、加悦谷高等学校・宮津天橋高等学校継承式を行い、74年に及ぶ輝かしい歴史と伝統を宮津天橋高等学校に継承いたしました。継承式では、主催者の京都府教育委員会 橋本幸三教育長、相馬直子高校改革推進室長、御来賓として江原勝公同窓会長様、石本晃一PTA会長様に御出席いただき、卒業生及び在校生による校旗及びメッセージ、校歌の継承を行いました。

これまで長きにわたり、御理解・御支援いただきました生徒の御家族、同窓生、旧教職員、地域の皆様をはじめ、関係の方々に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

本校は、「新制高校を加悦谷の地へ」との地域をあげての熱い思いのもと、昭和23年9月に定時制課程(昼間及び夜間)農業科並びに家庭科としてスタートしました。その後、時代の変遷と社会の要請に応え、昭和24年定時制課程(昼間及び夜間)普通科設置、昭和27年全日制課程普通科設置、昭和33年夜間課程廃止、さらに、昭和59年には全国的にも注目

されていた昼間二部制の定時制課程が廃止され、全日制普通科のみとなり、今日に至っています。この間、13,167名に及ぶ有為な人材を社会に送り出してきました。

創立以来、まさしく校歌にある「加悦谷の希望を負いて若人集う学舎」として、地域の皆様の御理解と御支援のもと、世界を視野に活躍する人材や地域を支える人材を輩出してきました。勉学のほか、ウィーン・シューベルト国際合唱コンクールで優勝した合唱部、オリンピック選手を輩出したウエイトリフティング部、全国チャンピオンを出した陸上競技部をはじめ、文武両道にわたる全人格の完成を目指した教育が進められてきました。

時代は急速に変化し、少子化による生徒数の減少は激しく、本校においても昭和56年度入学定員270名をピークに最後の卒業生は80名にまで減少しました。教育力の維持や魅力ある学校づくりのため、令和2年4月より府内初めての学舎制導入校として、加悦谷高校と宮津高校が宮津天橋高校として開校し、本校は加悦谷学舎として引き継がれることとなりました。

「生徒一人一人の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図るとともに、社会に貢献できる人材の育成」「伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐ人材の育成」「豊かで幸せな人生を送ることができるよう主体的に学び続ける人材の育成」を目標とし、生徒一人一人の可能性を信じ、真剣で真の教育、信頼関係に基づく教育、そして生徒の力を伸ばす教育は引き継がれていきます。さらに、地域創生・地域活性化と高校の魅力化・活性化に向け、「高校魅力化コーディネーター」の配置をはじめとする与謝野町と高校の協働により、新しい学校づくり、地域創生に向けた新たな高校教育の拠点となると確信しています。

結びに、これまで本校にお寄せいただいた御理解・御支援に感謝いたしますとともに、引き続き府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎に対しまして、御理解・御支援を賜りますようお願い申し上げます。今まで、誠にありがとうございました。

令和4年3月

第25代 京都府立加悦谷高等学校 校長 藤田 浩

卒業証書授与式ならびに継承式を挙行

3月1日(火)、第73回卒業証書授与式ならびに京都府立加悦谷高等学校・京都府立宮津天橋高等学校継承式を挙行了しました。卒業式は厳粛な雰囲気と卒業生の卒業を祝う温かな雰囲気の両方に包まれ、無事に執り行うことができました。式後の最後のホームルームは、担任が生徒への思いを伝え、生徒たちは、クラスメイト、担任、そして両親への感謝の思いをそれぞれ伝え、別れを惜しみながらも卒業を祝い合う時間となりました。

継承式では、卒業生代表生徒の挨拶の中で、「学校名がなくなってしまうのはさみしいけれど、いつまでも母校として応援し続けます。」との想いを述べ、在校生代表生徒からは、「加悦谷高校の歴史と、宮津天橋高校加悦谷学舎の始まりの両方を知る私たちが、しっかりと加悦谷高校の伝統を受け継ぎ、新しい文化を創っていきたい。」と決意表明をしました。卒業式ならびに継承式の開催にあたり、保護者様をはじめ、関係者の皆様には多くの御理解と御協力をいただきました。誠にありがとうございました。



加悦谷展を開催

日

頃の授業の成果を発表する場として、2月19日(土)、加悦谷展を開催しました。展示の部では、芸術や家庭科の授業作品、総合的な探究の時間で制作されたポスターや部活動で制作された作品が展示され、鑑賞する時間が設けられました。発表の部では、合唱部がマイクパフォーマンス、吹奏楽部が演奏、そして、アスリートスポーツコースの生徒たちが日ごろ授業内で行っているトレーニングをそれぞれ披露しました。また、総合的な探究の時間で調べ、実践したことを1、2年生それぞれの代表者が発表しました。選択授業、他のクラスや学年の活動を普段知る機会がないため、展示された作品や発表をとおして、クラスメイトの知られざる才能に気づく機会となりました。



【2年生】「働くこと」と「採用すること」について講話会

2年生の就職希望者対象に、就職ガイダンスを行いました。講師に株式会社うえもり 代表取締役 植森江助様と砂後建設株式会社 代表取締役 砂後隆正様にお越しいただき、「働くということ」、「経営者が採用する時にしているポイント」について講話いただきました。

「やりたいことだけやることが仕事ではない。」「好きなことと得意なことは別なので広い視野を持って考えて欲しい。」「社会に出たら、今以上に勉強する必要がある。」など、働くことに対して必要な心構えなどをお話いただきました。参加した生徒は、「就職することに対して不安があったが、講話の内容で、すごく背中を押してもらえた。」と感想を述べていました。

植森様、砂後様、御講話いただきありがとうございました。



＜講話いただいた砂後様(右)と植森様(左)＞

【1年生】「地域活性化」について講演会

進路選択の幅を広げるために、株式会社ローカルフラッグ 代表取締役 濱田祐太様から1年生を対象に講演いただきました。

起業しようと思った経緯、地域に関心を持った背景や、高校時代の勉強法など、年齢が近いこともあり、生徒たちにとって身近な話をたくさんいただきました。生徒の中には、「自分で仕事を興す発想はなかった。」とあり、視野が広がる機会となりました。濱田様、御講演ありがとうございました。



＜講演いただいた濱田様＞

【卒業生】令和3年京都府高等学校体育連盟 両丹支部長伝達表彰

京都府高等学校体育連盟両丹支部長表彰は、今年度、部活動で優秀な成績を収めた生徒に贈られます。卒業生では、以下の生徒が受賞しました。

- ◆陸上競技部
藤原 一華 さん(橋立中)
多賀野 晴 さん(峰山中)
- ◆ウエイトリフティング部
小西 智哉 さん(加悦中)



＜伝達表彰を受ける生徒＞

今、加悦谷がNEW TYPE

生徒たちの学校生活なども更新中！Web サイトもご覧ください

加悦谷高校

検索

宮津天橋高校

検索



京都府立
加悦谷
高等学校

京都府立
宮津天橋
高等学校
加悦谷学舎

京都府与謝郡与謝野町字三河内810

電話：0772-42-2171

FAX：0772-42-2172

電子メール：
kayadani-hs@kyoto-be.ne.jp

高校HPの
QRコード⇒

